

町長の
まち・ひと・しごと
魅力発信

～ 事業所訪問 vol.9 ～

「株式会社 シー・ティ・ケー」

町内には、優れた技術を持った会社が多く
存在します。事業所の持つ技術や
魅力を町長自ら訪問して、目で見、
お話を伺い、住民に情報発信する
「事業所訪問」を
連載します。

町長の見て・聞いて・話して

第9回の事業所訪問は、9月19日に株式会社シー・ティ・ケーを訪問し、伊藤仁男社長にお話を伺いました。

株式会社シー・ティ・ケーは、住友電工産業電線株式会社
の主力製品である住宅ハーネス(屋内配線用ユニットケー
ブル)を最新のCAMシステムにより製造している会社です。
平成13年(2001年)に秩父トヨコニ株式会社として設立し、
その後、住友電工産業電線株式会社の子会社化に伴い、
平成23年(2010年)に社名を「株式会社シー・ティ・ケー」へ
変更しました。

案内していただいた新工場内は、平成28年(2016年)に
完成し、広々とした清潔感を保つ中で、5つの工程(切断、
結線、注型、検査、梱包出荷)に分けられており、切断・注型
工程では自動化の設備導入に伴い、効率よく生産され、手
作業の検査工程では、素早く手際よく作業されていました。

新規に導入したICタグによる工程別生産データを収集
しているため、リアルタイムで進捗状況を確認できる新た
な試みを行うなど、新技術を導入し革新的な生産ラインを
構築し、従来の約2倍の増産体制を目指しておりました。ま
た、今年の住宅ハ
ーネスの需給状
況を見ながら、
2022年までに生
産個数を3万9千
個から5万個まで
に引き上げていく
予定で、増産に
あわせ社員をさら
に増やしていきた
いとのことでした。

情報基盤シス
テムを導入し、も
のづくり情報を活
用し「見える化」を
実現。お客様への



伊藤社長(左)

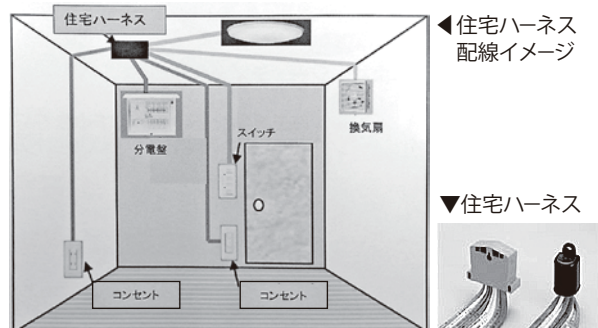


住宅ハーネスの説明を受ける森町長

サービス向上を常に意識し、社員一丸となって将来を見据
え、私たちの生活を支える最適な電線・ケーブルのものづ
くり真剣に取り組む企業であると感じました。

わが社の主力製品

わが社の「住宅ハーネス」は工事現場で行われていた電
気配線工事を予め工場ではハーネス化した製品で、電気工事
の工期短縮・高品質・コストダウンを実現しています。全国
の戸建住宅、アパート、マンション、ホテルの電気配線工事
に数多く採用され、大手ハウスメーカーの信頼を得ていま
す。



ここに自信あり

大手ハウスメーカーからの作成依頼を受け、お客様の
1邸ごとの建屋構造に合わせ、設計、見積もりなどそれぞ
れのニーズに対
応し、電気配線・
製造を行い、短
期間での生産・
出荷に応えます。



新工場 建屋全景

会社概要

代 表 者 代表取締役社長 伊藤仁男
従業員数 55名
創 業 2001年9月
所 在 地 小鹿野町下小鹿野879
電 話 0494-75-2103